

～神埼市の財政事情～

◎問い合わせ 財政課 財政係 TEL37-0101

市民の皆さんに納めていただいた税金がどのように使われているのか、市の財政状況がどのような状況にあるのかをお知らせするため、財政事情を公表します。

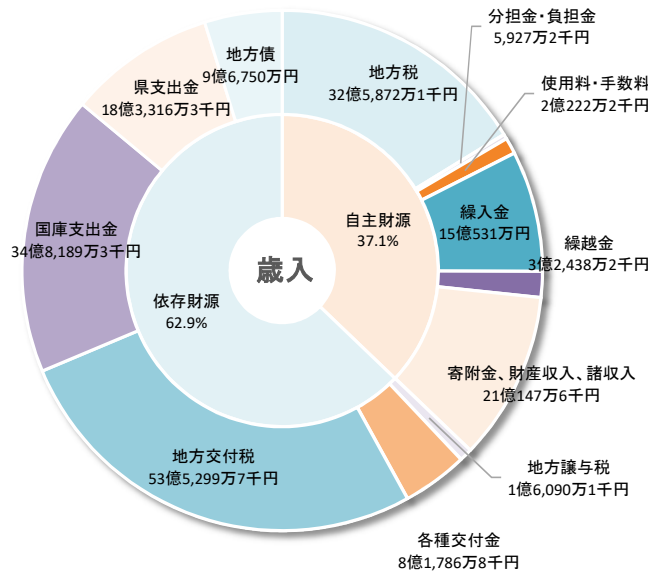
令和3年度 一般会計

歳入歳出 最終予算額 **200億6,570万5千円**(過去2番目の規模)

【歳入】 国・県支出金など依存財源が6割

令和3年度の最終予算は、前年度と比較して大幅に減少しました。令和2年度に実施した、1人10万円の特別定額給付金事業に対する国庫補助金大幅な減少や、新庁舎建設などの大型事業の完了により、財源としていた地方債の減少により、依存財源比率は62.9%(前年度比△2.5ポイント)となりました。

今後も、地方交付税の大幅な伸び等は期待できず、新型コロナウイルス感染症の影響による税収の減少も見込まれ、厳しい財政状況が予想されます。自主財源の確保と、歳入に見合った歳出規模を基本とすることが重要となります。

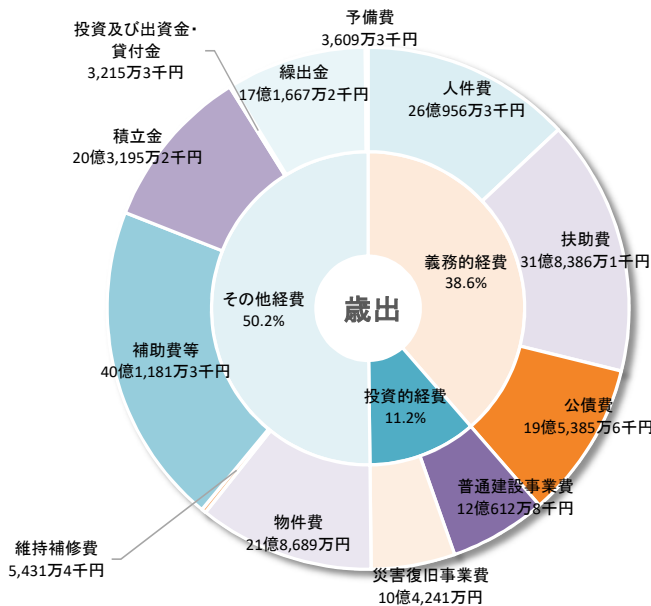


【用語解説】

- 自主財源・・・市が自主的に調達できる収入
- 依存財源・・・国、県から交付される財源や地方債のこと
- 地方交付税・・・全国すべての市町村が等しく行政サービスを提供できるよう国から交付されるもの
- 地方債・・・市が財政上必要とする資金を外部から借入れるもの
- 国庫・県支出金・・・特定の事業に対する国・県からの補助金など
- 繰入金・・・これまで積み立てた基金などから繰り入れる財源

【歳出】 投資的経費、補助費等が大幅に減少

「投資的経費」が対前年度比45.1%の減少、補助費等をはじめとする「その他経費」が対前年度比24.3%減少しましたが、予算規模としては過去2番目の規模となりました。新庁舎建設事業や脊振町複合施設建設事業など大型施設整備事業が令和2年度に完了したことにより、普通建設事業費が前年度比で70.1%減少しました。また、令和3年8月豪雨災害により、災害復旧事業費が前年度比1694.4%の大幅な増加となりました。補助費等の減少は、令和2年度に実施した新型コロナウイルス感染症の拡大を受けた特別定額給付金事業や、市独自のクーポン券事業、事業者応援給付金事業などの施策を展開していたことによるものです。今後は道路橋梁や各施設の老朽化対策などにかかる費用の増加が見込まれます。



【用語解説】

- 義務的経費・・・支出が義務づけられ毎年支出しなくてはならない経費
- 投資的経費・・・普通建設事業費や災害復旧事業費など社会資本の整備にかかる経費
- 扶助費・・・社会保障制度の一環として生活困窮者や身体障がい者などにその生活を維持するために支出される経費
- 補助費等・・・市から他の地方公共団体などに、行政上の目的で交付する経費
- 普通建設事業費・・・道路、橋梁、学校など公共施設の建設事業にかかる経費

【特別会計最終予算の状況】

区 分	令和3年度最終予算額
国民健康保険事業特別会計	42億6,116万8千円
国民健康保険診療所特別会計	1億7,742万2千円
後期高齢者医療特別会計	4億7,408万9千円
簡易水道特別会計	598万4千円

下水道事業会計	収入	支出
収益的収支	9億9,254万4千円	9億985万円
資本的収支	18億465万3千円	20億8,820万1千円

特別会計とは、国民健康保険税などの特定の収入で事業の支出が賄われている会計で、令和3年度末現在で5会計あります。

なお、下水道事業については令和2年度より地方公営企業法の適用を受け、公営企業会計として一般会計等と区別して経理することとなりました。

○基金(貯金)の状況

(単位:千円)

内 容			令和2年度末 残高	令和3年度末 残高見込
一般 会 計	財政調整基金	長期的な財源調整を行うための基金	1,926,296	2,101,089
	減債基金	市債償還に必要な財源を確保するための基金	485,313	385,723
	特定目的基金	地域振興等特定の目的のために積立てる基金	4,395,998	4,854,743
	小 計		6,807,607	7,341,555
特別 会 計	国民健康保険財政調整基金	国民健康保険事業の財源調整を行うための基金	245,257	266,202
	簡易水道基金	簡易水道事業の健全な運営に資するための基金	351	729
	小 計		245,608	266,931
合 計			7,053,215	7,608,486

市民一人あたりの基金残高…約25万円

○地方債(借金)の状況

(単位:千円)

区分	令和2年度末 残高	令和3年度末 残高見込
一般会計	20,685,381	19,771,946
国保診療所特別会計	341,914	387,703
簡易水道特別会計	2,848	3,043
合計	21,030,143	20,162,692

市民一人あたりの地方債残高…約65万円

※地方債残高には、合併特例事業債や過疎対策事業債など地方交付税で後年度財源措置される分が約7割見込まれ、実質的な市の負担は約3割となります。今後、も有効かつ効果的な地方債(市債)を活用した財政運営に努めます。

実質的には市民一人あたり
約16万円 ※

令和3年度一般会計の主な事業

事業名	所属	最終予算額
ふるさと納税推進事業	政策推進課	10億6,355万9千円
小・中学生、高校生等医療費助成事業	市民課	7,851万2千円
新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業	新型コロナウイルス感染症ワクチン接種対策室	1億6,946万円
新型コロナウイルスワクチン接種事業		1億5,320万7千円
子育て世帯への臨時特別給付金事業	福祉課	5億2,363万6千円
農地及び農業用施設災害復旧事業	農政水産課	2億9,463万8千円
林道施設災害復旧事業	林業課	3億5,767万9千円
公共土木施設災害復旧事業	建設課	3億4,264万円
日の隈公園キッズパーク整備事業		6,706万7千円
神崎市体育施設改修事業	国民スポーツ大会推進課	8,049万5千円

令和3年度一般会計は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴うワクチン接種事業や、経済的影響を受けた方々への支援施策に取り組みました。

また、令和3年8月豪雨災害復旧事業や、国民スポーツ大会等開催に伴う大会会場改修、日の隈公園の再整備に取り組みました。